

事務局が視察した取組事例

今年度、事務局が視察調査した事例の紹介

今年度、事務局が視察調査した事例

小規模店舗の事例収集に向け

事例1 ハングリータイガー 上郷店 (飲食店)

- 神奈川、横浜エリアを中心に12店舗を展開するハンバーグとステーキの専門店
- 新規出店、店舗改装のタイミングでバリアフリー対応の取組を実施
- ベンチシートと可動椅子を組み合わせた客席とゆとりのある空間
- 全てのお客様が楽しく食事できるように、ニーズに応じた対応と教育を実施

男女共用トイレ等の事例収集に向け

事例2 大井町駅前公衆便所 (公衆便所)

- 性別や性差を問わずに、自分の目的にあったトイレを選べる男女共用の公衆便所
- 異なる機能を有する6つのトイレを分散配置
- 設計コンペティションにより設計者を選定
- 品川区が日本建築家協会に発注者支援を依頼し、バリアフリーを含め、設計の各段階で専門家によるレビューを実施

事例1:ハングリータイガー上郷店 (飲食店)



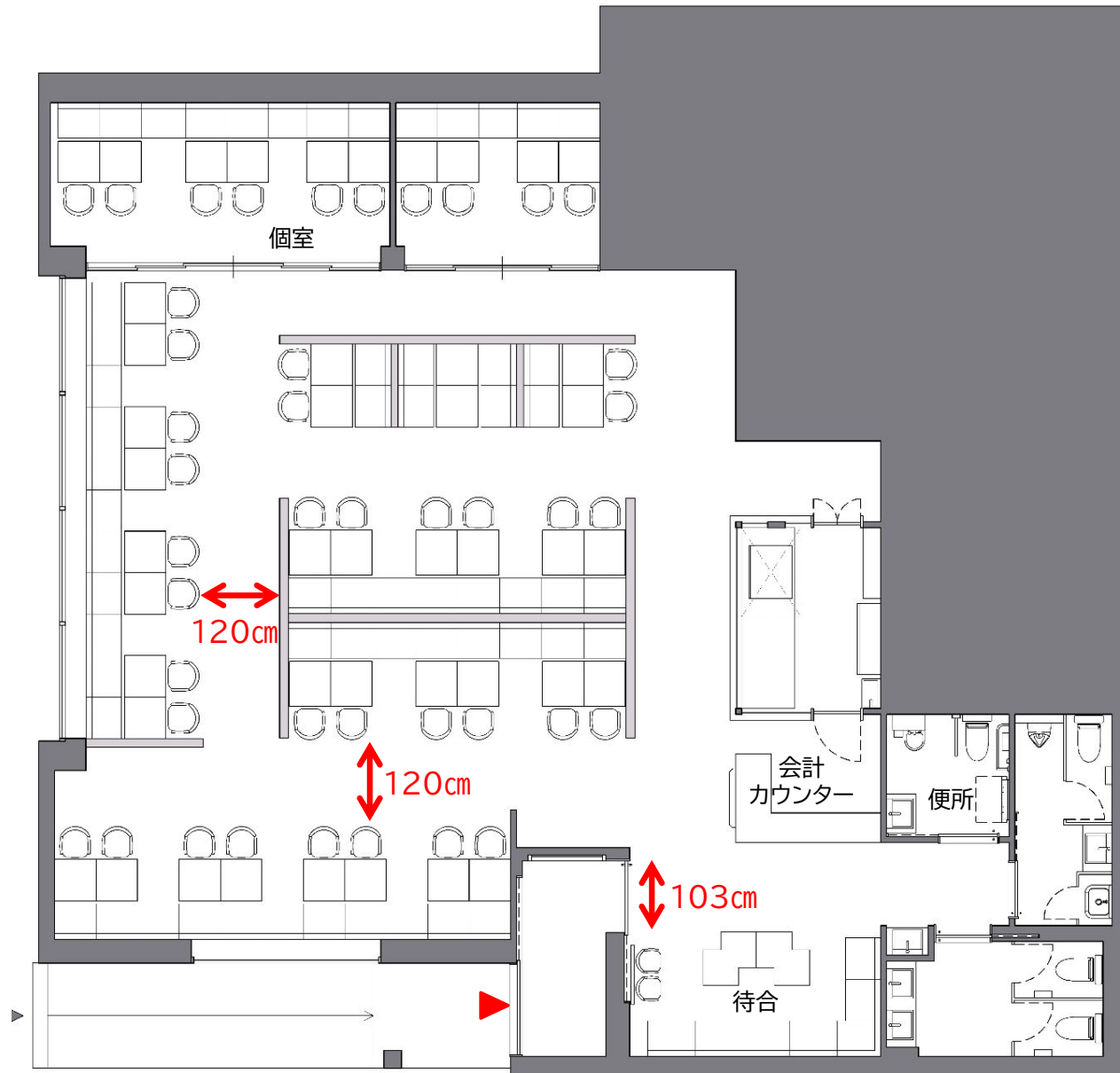
概要

所在地	横浜市栄区上郷町1183-1
店舗形態	ロードサイド店舗
開業	2020年12月
客席数	88席 (うち可動席42席)
付帯施設	駐車場24台 (うち車椅子利用者用駐車施設1台)

特徴

- 神奈川、横浜エリアを中心に12店舗を展開するハンバーグとステーキの専門店
- 新規出店、店舗改装のタイミングでバリアフリー対応の取組を実施
- ベンチシートと可動椅子を組み合わせた客席とゆとりのある空間、全店舗に個室あり
- ロードサイド型の全6店舗にバリアフリートイレ、オストメイト対応設備を設置
- 国交省からの注意喚起を受けて呼出しボタンの点検を実施し、全店舗で呼出しボタンとランプを整備
- ロードサイド型の全6店舗に車椅子利用者用駐車設備を設置
- 一部店舗では待合室にベビーベッドを設置
- 全てのお客様が楽しく食事できるように、ニーズに応じた対応と教育を実施

平面図



客席



- 客席空間の床の段差はない。
- 通路幅:120cm以上で、ゆとりのある広さが確保されている。
- 多様な人数や使い方に対応できるように、片側がベンチシート(固定)、片側が可動椅子の組み合わせが基本となっていて、テーブルも動かすことができるようになっている。
- テーブルは下端高さ:70cmで、車椅子使用者のひざが入る高さとなっている。

車椅子使用者用便房



- 出入口は引き戸形式(有効幅:87cm)、取っ手の形状は握りやすい棒状となっている。
- 便房の内法寸法は、1.9m×2.0mとなっている。
- 便房内には、オストメイト設備、乳幼児用おむつ交換台と洗面器(下端高さ:65cm)が設置されている。
- 便座の高さは42cmで、L型手すりと跳ね上げ式の手すりが設けられている。

車椅子使用者用駐車設備、待合



- 休日には警備員がいて、満車の場合にも車椅子使用者用駐車設備を空けておくように運用している。



- 店舗の出入口までは緩やかな傾斜路となっている。



- 店舗の出入口は引き戸(有効幅:103cm)となっている。
- 戸の前後に段なし。
- 子ども用椅子としてハイチェアとブースターシートが用意されている。

事例2:大井町駅前公衆便所



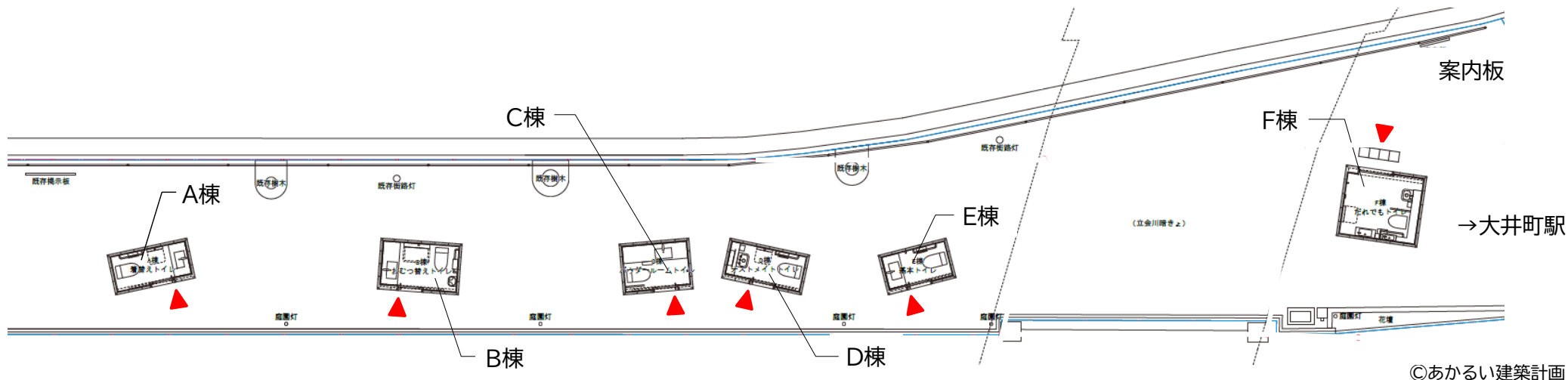
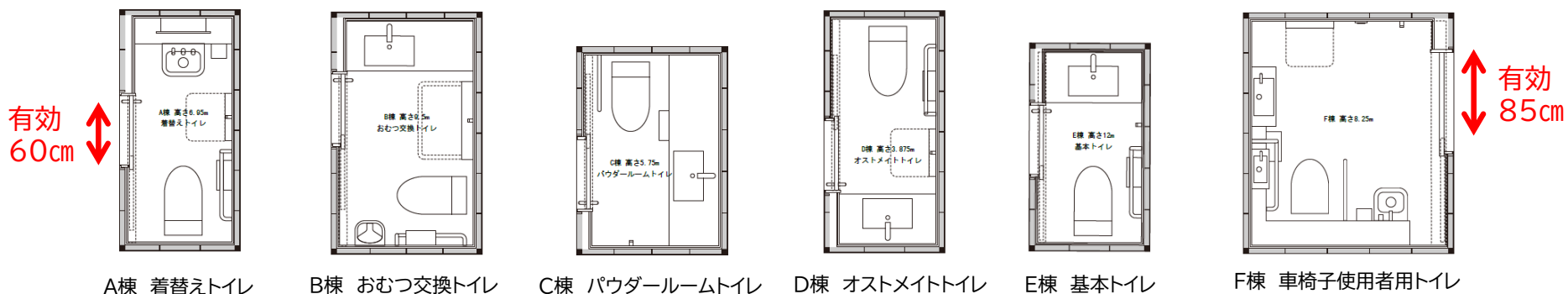
概要

所在地	東京都品川区大井1-2-5、6
施主	品川区
設計者	あかるい建築計画
竣工	2020年8月
構造・階数	鉄骨造・地上1階
建築面積	19.28㎡

特徴

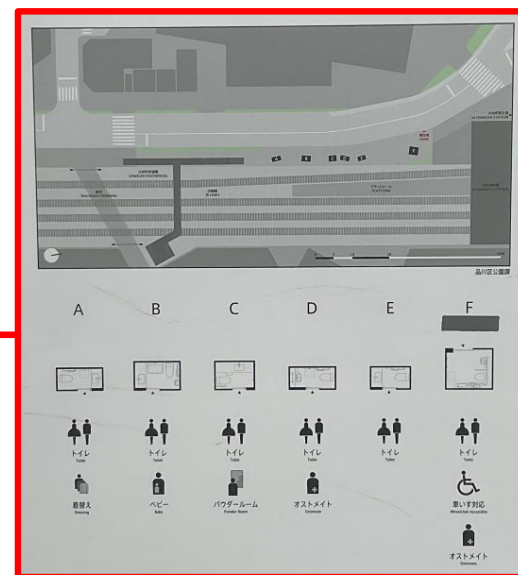
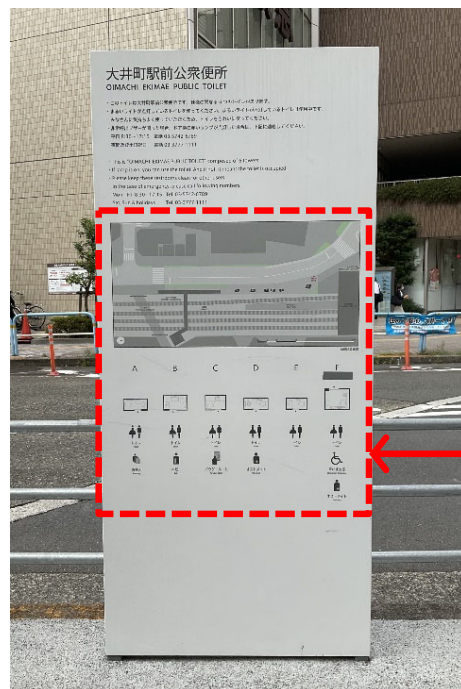
- 性別や性差を問わずに、自分の目的にあったトイレを選べる男女共用の公衆便所
- 異なる機能を与えた6つのトイレを分散配置
- 設計コンペティションにより設計者を選定、品川区が日本建築家協会(JIA)に発注者支援を依頼し、バリアフリーを含め、設計の各段階で専門家によるレビューを実施
- コンペ審査員を含めた日本建築家協会(JIA)の発注者支援協力チーム(JIAの意匠設計、設備設計、構造設計などの専門家、審査員)により、設計の各段階でレビューが行われた。
- 設計者はバリアフリーに関して、便房出入口の有効幅員やバリアフリー基準のどの部分を適用するのか、オストメイト用便房の設置等について確認し、アドバイスを受けた。

平面図(機能分散)



- トイレはすべて個室で、性別を問わずに使用できる。
- A棟:着替え対応(着替え台)、B棟:乳幼児連れ対応(乳幼児用おむつ交換台、乳幼児用椅子)、C棟:パウダールーム(洗面カウンター、鏡)、D棟:オストメイト対応(オストメイト用設備、着替え台)、E棟:基本トイレ、F棟:車椅子使用者対応(スペースと車椅子使用者用設備+オストメイト用設備)の設備を備えており、誰もが目的に応じて自由にトイレを選ぶことができる。
- 車椅子使用者用トイレ以外のトイレには、片側手すりが設置されている。

サイン



- 機能が分かりやすいよう、トイレのサインにはシンプルなピクトグラムが採用され、また空室状況が確認できるように、鍵と連動して消灯するライトが設置されている。(トイレ使用時にはライトが消灯)
- 案内板にはピクトグラムに加え、トイレ内のレイアウト図と全体配置図も掲載されている。
- 路面上にもサインが設置されている。

車椅子使用者用トイレ



- バリアフリー対応のトイレとして、出入口(有効幅:85cm)は自動扉となっている。
(長時間(30分)使用すると、自動でドアが開く仕組み)
- 便房の内法寸法は、ライニング含まず2.0m×1.7m(ライニング込み2.2m×1.9m)となっている。
- 便房内にはオストメイト用設備も設けられている。
- 駅から一番近いことを考慮し、出入口には点状ブロックが敷設されている。

乳幼児対応トイレ、オストメイト対応トイレ

□乳幼児対応トイレ



- 便房内には乳幼児用椅子とおむつ交換台が設置されている。
- 車椅子使用者用トイレを除く5つの個室の出入口は引き戸形式（有効幅：60cm）で、取っ手の形状は握りやすい棒状となっている。

□オストメイト対応トイレ



- オストメイト用設備は車椅子使用者用トイレとオストメイト対応トイレの2ヶ所に設置されている。